

SIEMENS

製品の概要

1

インストール

2

Automation License
Manager の操作

3

SIMATIC


Automation License Manager V5.2


マニュアル


法律上の注意

警告事項

本書には、ユーザーの安全性を確保し製品の損傷を防止するうえ守るべき注意事項が記載されています。ユーザーの安全性に関する注意事項は、安全警告サインで強調表示されています。このサインは、物的損傷に関する注意事項には表示されません。

 危険
回避しなければ、直接的な死または重傷に至る危険状態を示します。

 警告
回避しなければ、死または重傷に至るおそれのある危険な状況を示します。

 注意
回避しなければ、軽度または中度の人身傷害を引き起こすおそれのある危険な状況を示します (安全警告サイン付き)。

注意
回避しなければ、物的損傷を引き起こすおそれのある危険な状況を示します (安全警告サインなし)。

通知
回避しなければ、望ましくない結果や状態が生じ得る状況を示します (安全警告サインなし)。


複数の危険レベルに相当する場合は、通常、最も危険度の高い (番号の低い) 事項が表示されることになっています。安全警告サイン付きの人身傷害に関する注意事項があれば、物的損傷に関する警告が付加されます。

有資格者

本書が対象とする製品 / システムは必ず有資格者が取り扱うものとし、各操作内容に関連するドキュメント、特に安全上の注意及び警告が遵守されなければなりません。有資格者とは、訓練内容及び経験に基づきながら当該製品 / システムの取り扱いに伴う危険性を認識し、発生し得る危害を事前に回避できる者をいいます。

シーメンス製品を正しくお使いいただくために

以下の事項に注意してください。

 警告
シーメンス製品は、カタログおよび付属の技術説明書の指示に従ってお使いください。他社の製品または部品との併用は、弊社の推奨もしくは許可がある場合に限りです。製品を正しく安全にご使用いただくには、適切な運搬、保管、組み立て、据え付け、配線、始動、操作、保守を行ってください。ご使用になる場所は、許容された範囲を必ず守ってください。付属の技術説明書に記述されている指示を遵守してください。

商標



®マークのついた称号はすべて Siemens AG の商標です。本書に記載するその他の称号は商標であり、第三者が自己の目的において使用した場合、所有者の権利を侵害することになります。

免責事項

本書のハードウェアおよびソフトウェアに関する記述と、実際の製品内容との一致については検証済みです。しかしなお、本書の記述が実際の製品内容と異なる可能性もあり、完全な一致が保証されているわけではありません。記載内容については定期的に検証し、訂正が必要な場合は次の版で更新いたします。

目次

1	製品の概要	5
1.1	Automation License Managerの紹介	5
1.2	機能の概要	6
1.3	Automation License Managerのライセンス	7
1.4	配布内容.....	9
1.5	"ライセンス管理のサポート"によるサポート	10
2	インストール	11
2.1	インストール要件	11
2.2	Automation License Managerのインストール.....	13
2.3	Automation License Managerのアンインストール.....	14
2.4	プラグインのインストール.....	14
2.5	ライセンスのアップグレード	15
2.6	古いソフトウェアバージョンの使用に関する注記.....	17
2.7	ハードディスクの最適化に関する注記.....	18
3	Automation License Managerの操作	19
3.1	ユーザーインターフェース.....	19
3.1.1	Automation License Managerのユーザーインターフェース	19
3.1.2	オブジェクトエリアのテーブル列.....	21
3.1.3	Automation License Managerの設定	23
3.1.4	プログラムの実行が遅れる場合のフィードバック	24
3.2	Automation License Managerのステータスアイコン	25
3.2.1	ショートカット	27
3.3	Automation License Managerの表示	28
3.3.1	デフォルトビュー	28
3.3.2	[管理]、[検索]、および[ログ]ビューの概要.....	29
3.3.3	[管理]ビュー	30
3.3.4	[検索]ビュー	32
3.3.5	[ログ]ビュー	33
3.4	ライセンスキーの取扱い	34
3.4.1	ライセンスキーのインストール.....	34

3.4.2	インストール済みライセンスキーの表示	34
3.4.3	インストール済みソフトウェアの表示	36
3.4.4	ライセンスキーの転送	37
3.4.5	フォルダの作成	39
3.4.6	フォルダ内のライセンスキーの管理	40
3.4.7	ライセンス要求の決定および同期化	43
3.4.8	ライセンスキーのオフライン転送	45
3.4.9	オフライン転送の実行 - 開始コードの生成	46
3.4.10	オフライン転送 - 要求コードを生成する	47
3.4.11	オフライン転送の実行 - アクティベーションコードの作成	49
3.4.12	オフライン転送の実行 - ライセンスキーの有効化	51
3.4.13	ライセンスキーをオフライン転送するためのライセンスプロファイルファイル	52
3.5	Webライセンスキーのダウンロード	53
3.5.1	Webライセンスキーのダウンロード	53
3.5.2	Webライセンスキーのダウンロード - [戻る]ボタン 	54
3.5.3	Webライセンスキーのダウンロード - [キャンセル]ボタン 	54
3.5.4	Webライセンスキーのダウンロード - [進む]ボタン 	54
3.5.5	Webライセンスキーのダウンロード - [開始ページ]ボタン 	54
3.6	ネットワークにおけるライセンスキーの使用	55
3.6.1	ネットワークの既存ライセンスキーの検索	55
3.6.2	ネットワーク経由のコンピュータの接続	57
3.6.3	コンピュータ接続のエラー	59
3.7	ライセンスキーの修復	61
3.7.1	ライセンスキーの確認	61
3.7.2	ライセンスキーの回復	61
3.7.3	ウィザードを使用したライセンスキーの回復	62
3.7.4	"ライセンス管理のサポート"のヘルプ	62
3.8	Automation License Managerに対するアクセス保護	63
3.8.1	SIMATIC Logonの役割管理によるアクセス保護	63
3.8.2	SIMATIC Logonの役割管理の呼び出しおよび有効化	65
3.8.3	Automation License Managerの機能権限および役割	66
用語解説		67
索引		71

1 製品の概要

1.1 Automation License Manager の紹介

Automation License Manager は、Siemens AG Industry Sector の製品です。この製品は、ライセンスキー(テクニカルなフォームのライセンス)を管理するために使用されます。

ライセンスキーの必要な製品は、自動的に Automation License Manager にこの要求をレポートします。そのソフトウェアに有効なライセンスキーが Automation License Manager に検出されると、エンドユーザープログラム使用許諾契約書に従ってそのソフトウェアを使用することができます。

用語の定義

次の表は、Automation License Manager で使用される重要な用語の説明です。

用語	説明
ソフトウェア	ハードウェアにインストールされて、データの処理に使用される製品。
ハードウェア	ソフトウェアを実行するコンピュータ(PC)、デバイスまたはモジュール。
ライセンス	ライセンスは、製品を使用する権利を提供します。この権利は次のような形態となります。 <ul style="list-style-type: none">• CoL (Certificate of License=ライセンスの認定書) および• ライセンスキー
CoL (Certificate of License=ライセンスの認定書)	CoL はライセンスの証拠となるものです。製品を使用できるのはライセンスの所有者または認定されたユーザーだけです。
ライセンスキー	ライセンスキーは、"テクニカルな形態"のライセンスです("電子ライセンススタンプ")。

ライセンスキーの格納場所

ライセンスキーは、ライセンスキーデータキャリア、リムーバブルドライブ(CD、CDRW は除く)、USB メモリスティックなどの記憶媒体に格納することができます。

ライセンスキーは、お使いのコンピュータ上にも、ネットワークコンピュータ上にもローカル的に格納することができます。

1.2 機能の概要

Automation License Manager では、以下の機能を実行できます。

機能	説明
ライセンスキーの管理	ライセンスキーの管理に必要なあらゆる機能
ライセンスキーの転送	保存先(コンピュータ、USB メモリスティック、フォルダなど)の間のライセンスキーの移動
ライセンスキーの表示	ライセンスキーの詳細情報(有効性、ステータスなど)を表示します。
ライセンスキーの保存	ライセンスキーをローカルまたはネットワークコンピュータに保存します。
ライセンスキーの確認	ライセンスキーのステータス(OK、使用済みなど)を確認します。
必要なライセンスキーの判別と表示	既存のライセンスキーと必要なライセンスキーを比較します。
ライセンスキーを含む操作のロギング	ライセンスキー固有のアクションをコンピュータ上でロギングします。
ライセンスキーへの外部アクセスのブロック	SIMATIC Logon を使用できないときは外部アクセスをブロックします。
ライセンスキーのアクセス保護サポート	コンピュータ上で SIMATIC Logon を利用できる場合、Automation License Manager を使用して、ライセンスキーのアクセス保護を有効にできます。

注記

ライセンスキーのアクセス保護サポートには、決められた条件が必要です。必要条件は、[SIMATIC Logon の役割管理によるアクセス保護]を参照してください。

オンラインヘルプを呼び出す

Automation License Manager のオンラインヘルプは、ライセンスキーの機能および動作について必要なすべての情報を提供します。

Automation License Manager 開始後、以下からオンラインヘルプにアクセスすることができます。

- F1 ボタンまたは
- メニューコマンド[ヘルプ|Automation License Manager についてのヘルプ]。

1.3 Automation License Manager のライセンス

標準ライセンスタイプと、下記のリストに示すライセンスタイプが使用可能です。

標準ライセンスタイプ	説明
Single	このライセンスによるソフトウェアの使用は、任意の 1 台のコンピュータ上で許可されます。使用のタイプはライセンスの認定書によって定義されます。
Floating	このライセンスによるソフトウェアの使用は、同時取り扱いに対する使用権限を含みます。このソフトウェアは、複数のロケーションにインストールできます。
Master	このライセンスのソフトウェアの使用は無制限です。
Upgrade	アップグレードを使用する前に、システムステータスが一定の必要条件を満たす必要がある場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> • Upgrade ライセンスを使用すると、古いバージョンのライセンスを新しいバージョンのライセンスに変換することができます。 • たとえば、コンフィグレーション制限を拡大する必要がある場合、アップグレードが必要になります。

ライセンスタイプ	説明
無制限	このライセンスのソフトウェアの使用は無制限です。
Count relevant	このライセンスのソフトウェアの使用には、以下の制限があります。 <ul style="list-style-type: none"> • 使用許諾契約書で指定されたタグの数
Countable Objects	このライセンスのソフトウェアの使用には、以下の制限があります。 <ul style="list-style-type: none"> • 使用許諾契約書で指定されたオブジェクト数。
Rental	このライセンスのソフトウェアの使用には、以下の制限があります。 <ul style="list-style-type: none"> • 使用許諾契約書で指定された操作時間数。 • 使用許諾契約書で指定された使用開始からの日数。 • 使用許諾契約書で指定された有効期限。 <p>注記: Rental ンタルライセンスの残り時間については、タスクバーの情報エリアで簡単な情報を参照することができます。</p>
Trial	このライセンスのソフトウェアの使用には、以下の制限があります。 <ul style="list-style-type: none"> • たとえば、最大 14 日の有効期間。 • 使用開始から一定の日数 • テストと検証のための使用(保証の免責事項)。

1.3 Automation License Managerのライセンス

ライセンスタイプ	説明
Demo	<p>このライセンスのソフトウェアの使用には、以下の制限があります。</p> <ul style="list-style-type: none">• 使用許諾契約書で指定された操作時間数。• 使用許諾契約書で指定された使用開始からの日数。• 使用許諾契約書で指定された有効期限。 <p>注記: Demo ンタルライセンスの残り時間については、タスクバーの情報エリアで簡単な情報を参照することができます。</p>

不足しているライセンスキー

ソフトウェアにより必要であるが、ネットワーク上で"有効な"形で使用できないライセンスキーは、不足しているライセンスキーとして知ることができます。

ネットワークに接続されたすべてのコンピュータではなく、Automation License Manager の"検索リスト"に追加されたコンピュータだけが検索されることに注意してください。

ネットワークで検索するコンピュータは、メニューコマンド[ファイル|設定|お気に入り]で設定します。

1.4 配布内容

インストールソフトウェア

Automation License Manager は、ライセンスキーに必要なソフトウェアのインストール媒体 (CD-ROM など)にあります。

Automation License Manager のコンポーネント

コンポーネント	説明	インストール必須	インストール可
Automation License Manager	すべてのセカンダリサービスを備えた Automation License Manager のユーザーインターフェースを含んでいます	X	
プラグイン	Automation License Manager の追加のカスタム製品機能を含んでいます		X

注記

Automation License Manager 自体にライセンスキーは不要です。

1.5 "ライセンス管理のサポート"によるサポート

以下に、"ライセンス管理のサポート"に連絡を取るための言語別インターネットアドレスを示します。

ドイツ語	http://support.automation.siemens.com/WW/view/de/772175
英語	http://support.automation.siemens.com/WW/view/en/772175
フランス語	http://support.automation.siemens.com/WW/view/fr/772175
スペイン語	http://support.automation.siemens.com/WW/view/es/772175
イタリア語	http://support.automation.siemens.com/WW/view/it/772175
中国語	http://support.automation.siemens.com/WW/view/en/772175
日本語	http://support.automation.siemens.com/WW/view/en/772175

"技術サポート"および"ライセンス管理のサポート"の従業員は、ドイツ語および英語で対応いたします。

2 インストール

2.1 インストール要件

ハードウェア

Automation License Manager を使用するためのハードウェア要件については、このバージョンを出荷したときの **readme** ファイルを参照してください。

注記

Automation License Manager のインストール後、**readme** ファイルを起動するには、**[スタート|プログラム|Siemens Automation|ドキュメンテーション|Readme]**の順に操作します。その後、**readme** ファイルと Automation License Manager の言語を選択します。

オペレーティングシステム

- Automation License Manager は、Windows プログラムです。提供された **readme** ファイルで、Automation License Manager のこのバージョンで許可されたオペレーティングシステムがわかります。

注記

Automation License Manager のインストール後、**readme** ファイルを起動するには、**[スタート|プログラム|Siemens Automation|ドキュメンテーション|Readme]**の順に操作します。その後、**readme** ファイルと Automation License Manager の言語を選択します。

- このソフトウェアはサポートされたオペレーティングシステムのすべての言語のバージョンに準拠しています。

ソフトウェア製品およびコンポーネント用の製品固有プラグイン

注

Automation License Manager には、一部のソフトウェア製品とコンポーネントのライセンスキーを管理するための製品固有のプラグインが必要です。これらのプラグインは必要なときにプロジェクトにより提供され、セットアップでインストールされます。

2.2 Automation License Manager のインストール

ステップバイステップでインストールプロセスを行うことができるセットアッププログラムによって、Automation License Manager をインストールします。この Automation License Manager 用インストールソフトウェアは、製品 CD にあります。

Automation License Manager と共に含まれているソフトウェアコンポーネントについては、「配布内容」を参照してください。

準備段階

インストールの開始前に、オペレーティングシステムを起動する必要があります。"インストールの前提条件"も参照してください。

- Automation License Manager をインストールするには、ソフトウェアをプログラミング装置または PC に固定するデータキャリアを接続します。
- プログラミング装置または PC のハードディスクに本ソフトウェアがすでにインストールされている場合は、外部データ記憶媒体は必要ありません。

注記

インストールを開始する前にすべてのプログラムを終了してください。

インストールプログラムの起動

手順

1. "Setup.exe"ファイルをダブルクリックして、Automation License Manager のセットアッププログラムを開始します。
2. インストールプログラムの指示に従います。
3. [Automation License Manager セットアップ]ダイアログに、インストールプロセスの終了が報告されます。[終了]をクリックして、セットアッププログラムを終了します。

注記

- このプログラムウィザードでは、ステップバイステップでインストールプロセス全体を行うことができます。
 - インストール中、ダイアログボックスで質問に答え、選択を行うように求められます。希望の要件に適する設定を選択します。
 - いつでも前のステップに戻るか、次のステップに進むことができます。
-

2.3 Automation License Manager のアンインストール

Automation License Manager のアンインストールの手順:

1. コンピュータのスタートメニューの[スタート|設定|コントロールパネル]を選択して、コントロールパネルを開きます。
2. 詳細表示で[ソフトウェア]を開きます。
3. インストールされているソフトウェアのリストで、[Automation License Manager]を選択します。
4. [削除]をクリックします。
5. [はい]をクリックして、アンインストールを確認します。
6. プログラムが正常に取り除かれると、[OK]をクリックします。

結果: Automation License Manager がアンインストールされます。

2.4 プラグインのインストール

製品固有のプラグイン

注記

Automation License Manager には、一部のアプリケーションとコンポーネントのライセンスキーを管理するための製品固有のプラグインが必要です。これらのプラグインをまだ持っていない場合は、製品により提供されます。

プラグインは、製品固有のセットアッププログラムを使用してインストールされます。セットアッププログラムの関連指示に従います。

2.5 ライセンスのアップグレード

ライセンスアップグレード

新規または拡張ソフトウェアバージョンを使用するには、既存のライセンスキーを新しいライセンスキーにアップグレードする必要があります。

注記

アップグレードを実行するコンピュータのハードディスク上に、"古い"ライセンスキーとアップグレード自体を格納する必要があることにご注意ください。

注記

セットアッププログラム中は、**Upgrade** ライセンスキーをインストールすることができないことにご注意ください。

必要条件

"ライセンスキーまたは"古いオーソリゼーション"をアップグレードするには、以下のものがが必要です。

- アップグレードするソフトウェアバージョンからは
 - CoL (ライセンス証明書)およびライセンスキー

または

 - オーソリゼーションディスク上の"古いオーソリゼーション"
- 目標バージョンからは
 - CoL および **Upgrade** ライセンスキー

または

 - オーソリゼーションディスク上のアップグレードオーソリゼーション

- ライセンスキーまたはオーソリゼーションがローカルコンピュータで使用可能な必要があります。
 - アップグレードターゲットがライセンスキーの場合は、以下の保存先から使用可能です: ライセンスキーデータキャリアまたはオーソリゼーションディスク、ドライブ、または USB メモリスティック。

注記

パフォーマンス上の理由から、お使いのコンピュータのローカルディスク上に、"古い"オーソリゼーションおよび"古い"ライセンスキーとアップグレード自体を格納するようお勧めします。

-
- アップグレードターゲットがオーソリゼーションの場合は、オーソリゼーションディスクのみ使用可能であること。

ライセンスアップグレードの実行

アップグレードライセンスキーは、Automation License manager のアクセスエリアで使用可能でなければなりません。このため、ライセンスキーデータキャリアをコンピュータに接続する必要があります。

ライセンスキーをアップグレードするには、以下のように進めます。

1. **[表示|管理]**メニューコマンドを選択します。
2. ナビゲーションエリアで、アップグレードを実行するライセンスキーの場所を選択します。
3. オブジェクトエリアで、アップグレードするライセンスキーを選択します。
4. **[ライセンスキー|アップグレード]**メニューコマンドを選択します。
 - アップグレードの可能性が1つしかない場合、メッセージやプロンプトを表示することなく実行されます。
 - アップグレードの可能性がいくつかある場合、**[ライセンスキーのアップグレード]**ダイアログが開きます。
 - 実行するアップグレードを選択して、**[アップグレード]**ボタンをクリックします。

注記

64 ビットオペレーティングシステムでは認証がサポートされていないことに注意してください。

2.6 古いソフトウェアバージョンの使用に関する注記

ライセンスキーで有効となるソフトウェア製品

ライセンスキーを使用して実行できるソフトウェア製品は、新しいライセンスキーも使用できます。これらの製品に以下が適用されます。

- ライセンスキーの"新しい"バージョンは、常に他のバージョンのソフトウェアを操作するために使用することができます。
- "以前の"バージョンを使用するために、ライセンスキーをダウングレードする必要はありません。

注記

Automation License Manager の[管理]ビューにあるライセンスキーは 20 桁のライセンス番号で認識することができます。

"古いオーソリゼーション"で有効となるソフトウェア製品

オーソリゼーションで実行されるソフトウェア製品にはオーソリゼーションが必要です。これらのソフトウェア製品は、ライセンスキーを使用して操作することはできません。それ以降のバージョンに対するライセンスキーは、ライセンスキーを使用するソフトウェア製品に対してのみ使用できます。

"以前のオーソリゼーション"のアップグレードに関しては、Automation License Manager のオンラインヘルプにある"ライセンスのアップグレード"を参照してください。

注記

Automation License Manager の[管理]ビューにあるオーソリゼーションは 10 桁のライセンス番号で認識することができます。

2.7 ハードディスクの最適化に関する注記

ハードディスクの最適化

ライセンスキーが転送されると、一部のユーティリティで"不良"のラベルを付けられたドライブ (データキャリアまたはハードディスク) 上にクラスタが作成されます。

注意

このような"不良"クラスタを修正しようとししないでください。これらを修正すると、ライセンスキーが壊れます。

固定ブロックを移動することのできる最適化プログラムを使用する場合、オプションを使用する前に、ライセンスキーをハードディスクからライセンスキーデータキャリアへ転送しなければなりません。

ハードディスクのバックアップがライセンスキーのコピーを含んでいる場合、バックアップによってディスクを復元すると、現在有効なライセンスキーを上書きして破損する恐れがあります。このようにしてライセンスキーが破損することを防ぐために、バックアップを作成する前にライセンスキーをすべて削除するか、または最初にライセンスキーをバックアップから除外することを強くお勧めします。

ハードディスクをフォーマット、圧縮、復元する、または新しいオペレーティングシステムをインストールする前に、ライセンスキーを削除することを忘れないでください。



注

ライセンスキーの保存に使われるファイルが固定ブロックを移動するデフラグプログラムによって破壊される場合があります。推奨 常に、デフラグプログラムを使用する前にプロシージャからライセンスキーを除外してください。

プロシージャからライセンスキーを除外する

プロシージャから特定のライセンスキーまたはオーソリゼーションを除外するには、以下の選択肢があります。

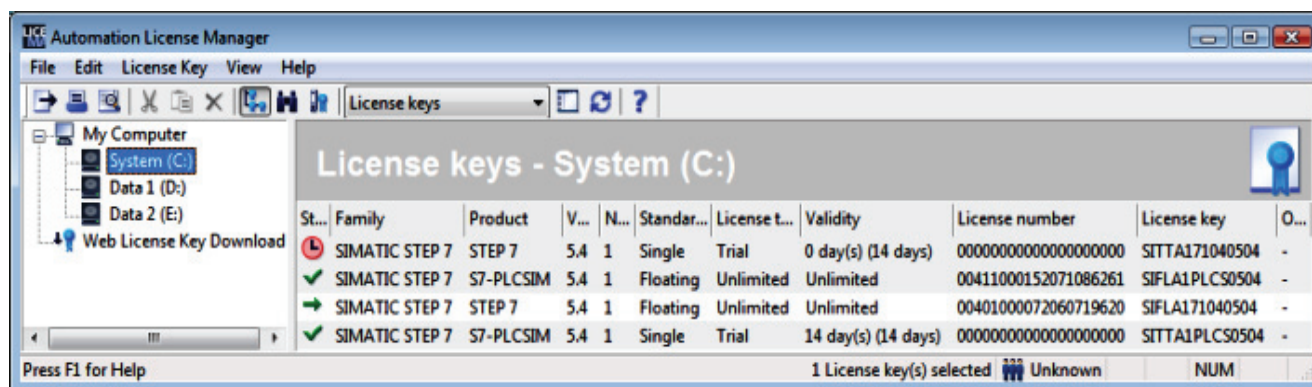
- すべてのライセンスキーを対応するライセンスキーデータキャリアへ転送する。
- すべてのオーソリゼーションを対応するオーソリゼーションディスクへ転送する。

3 Automation License Manager の操作

3.1 ユーザーインターフェース

3.1.1 Automation License Managerのユーザーインターフェース

Automation License Manager のユーザーインターフェースは、以下の構造をしています。



1. タイトルバー: "Automation License Manager"と、ウィンドウをコントロールするためのアイコンが含まれています。
2. メニューバー: Automation License Manager で使用可能なすべてのメニューが含まれています。
3. ツールバー: 頻繁に使用するコマンドを素早く実行するためのアイコンと、現在選択されているビュー(ここでは[ライセンスキー])が含まれています。
4. ワークエリア: 左側にナビゲーションエリア(上記の白色で示されているエリア)と、右側にそれに関連したオブジェクトエリアが含まれています。
5. ステータスバー: アプリケーションの下端に位置し、ステータス情報を出力するための7つのフィールドが含まれています。

表示される情報は、現在選択されているビューおよびナビゲーションエリアで選択されているオブジェクトに依存します。

ナビゲーションエリア

左側のナビゲーションエリアには、以下のオブジェクトを表示することができます。

ビュー	ナビゲーションエリアのオブジェクト
[管理]	ここでは、マイコンピュータ、ネットワークコンピュータ、Automation License Manager で構成されているフォルダ、およびライセンスキーフォルダなどのユーザーが管理できる全オブジェクトを参照します。
[検索]	検索オプションである 検索語、製品、保存先、標準ライセンスタイプ、ライセンスタイプ、ステータス、使用先を選択できます。
[ログ]	対応するコンピュータ、異なるフィルタ基準を選択できます。

オブジェクトエリア

右側のオブジェクトエリアには、以下の設定に従って個々のオブジェクトが表示されます。

- Automation License Manager 内のビューセット
- ナビゲーションエリアで選択したオブジェクト

オブジェクトエリアは、次の項目で構成されます。

領域	説明
タイトル	タイトルによって、ユーザーは現在のビューの内容を一目で見ることができます。さらに、大きいアイコンによって、対応するフォルダをすばやく識別することができます。
データ領域	データ領域には、ナビゲーションエリアで選択したフォルダ内のすべての要素が表示されます。

注記

オブジェクトエリアに表示するオブジェクトがない場合、これに対応する注記がオブジェクトの代わりに表示されます。

3.1.2 オブジェクトエリアのテーブル列

Automation License Manager を開くと、左側にナビゲーションエリア、右側にそれに関連したオブジェクトエリアが表示されます。表示されるオブジェクトに応じて、以下に対応する情報が表示されます。

- ライセンスキーまたは
- ソフトウェア

[ライセンスキー]ビューには、右側のオブジェクトエリアにある以下の関連するデータと一緒に、選択したドライブ上の使用可能なライセンスキーが表示されます。

列	説明
ステータス	OK、不良、使用済みなどのステータス情報を表示します。ライセンスキー用のステータスアイコンを参照
ファミリー	"SIMATIC STEP 7"などの個別ファミリーを表示します。
製品	"STEP 7"などの個別製品を表示します。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン識別子、たとえば"5.4"を表示します。
ライセンスキーの数	使用可能なライセンスキーの数を表示します。
オーダー番号	オプション
標準ライセンスタイプ	Single、Floating、Master、Upgrade などのライセンスの標準タイプを表示します。
ライセンスタイプ	以下のライセンスが使用可能です。 <ul style="list-style-type: none"> • Without restrictions (無制限) • Count relevant (タグ) • Countable Objects • Rental (時間制限、日数制限、期限日付き) • Trial (日数制限) • Demo (時間制限、日数制限、期限日付き) • Power Pack

列	説明
有効期限	有効期限内で以下のオプションが使用可能です。 <ul style="list-style-type: none"> • "Without restrictions": 無制限 • "Count relevant": タグの数 • "Countable Objects": アプリケーション固有のオブジェクトがカウントされません。予約されたカウンタ読み取りは、コンピュータが再起動された後も保持されます。 • "Rental": 残存期間 + ユニット/日付 • "Trial": 残存期間(ランタイムの合計時間) • "Demo": 残存期間 + ユニット/日付 • "Master": 契約で規定のとおり • "Upgrade": 契約で規定のとおり • "Power Pack": 契約で規定のとおり
ライセンス番号	S ソフトウェアライセンスのシリアル番号 (10 桁 = オーソリゼーション; 20 桁 = ライセンスキー)
オプションの列	
メーカー	Siemens AG など
コンピュータ	ライセンスキーが格納されているコンピュータの名前
ライセンスキー	ライセンスキーの名前
保存先	個別の保存場所: マイコンピュータ(ローカル)またはネットワークコンピュータ
最後に使用した日	現在、機能なし
ユーザー	ライセンスキーのユーザー
使用されるコンピュータ	ライセンスキーを使用しているコンピュータ
ハードウェアのシリアル番号	ハードウェアのシリアル番号を表示します。
ソフトウェアの量	オプション

3.1.3 Automation License Managerの設定

[設定]ダイアログで以下の設定を行います。

[設定]ダイアログ

1. メニューコマンド[ファイル|設定]を選択します。[設定]ダイアログが開きます。
2. 希望する設定を入力します。
3. [OK] をクリックして、ダイアログを閉じます。

設定機能	設定を行う場所:	アクション:
アクセス保護	[全般]タブ	ライセンスキーのアクセス保護サポートには、決められた条件が必要です。必要条件は、[SIMATIC Logon の役割管理によるアクセス保護]を参照してください。
外部アクセスのブロック	[全般]タブ	防ぎたい操作に応じて、以下のオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • ネットワークコンピュータがライセンスキーを使用しないようにしたい場合は、[ライセンスキーのリモート使用を禁止する]チェックボックスを選択します。 • ローカルコンピュータからライセンスキーが移されないようにしたい場合は、[ローカルコンピュータからのライセンスキーの転送を禁止する]チェックボックスを選択します。 • ローカルコンピュータ上にライセンスキーが追加されないようにしたい場合は、[ローカルコンピュータへのライセンスキーの転送を禁止する]チェックボックスを選択します。 すべてのフィールドを組み合わせることができます。 SIMATIC Logon がインストールされ、[SIMATIC Logon とアクセス保護を有効にする]チェックボックスが選択された場合は、マークが付いたチェックボックスがクリアされます。 関連項目 [全般]タブ - 設定
言語	[全般]タブ	ドロップダウンリストボックスで、使用可能な言語を 1 つ選択します。 関連項目 [全般]タブ - 設定

3.1 ユーザーインターフェース

設定機能	設定を行う場所:	アクション:
検索順序	[お気に入り]タブ	[お気に入り]タブの左側にある[既知のコンピュータ]のリストに、過去にどこかのポイントでこのローカル Automation License Manager に接続されていたコンピュータが表示されます。 注記: ライセンスキーの確認は、右側の[検索リスト]タブに含まれるコンピュータ上でのみ実行されます。検索順序は、上から下です。 Floating ライセンスキーを検索したいコンピュータを選択し、それをリストの一番上に移動します。 [お気に入り]タブの設定も参照してください
他のコンピュータへの接続	[接続]タブ	このタブでは、必要な接続設定を定義します。 他のコンピュータに接続できるようにするには、ファイアウォール設定を調整する必要があることを忘れないでください。 [接続]タブの設定も参照してください
ユーザー定義設定	[リセット]タブ	このタブでは、ユーザーが定義した設定をリセットまたは削除することができます。 関連項目 [リセット]タブ - 設定

3.1.4 プログラムの実行が遅れる場合のフィードバック

プログラム実行の遅れが生じる場合、本プログラムはフィードバックを行います。ここに次のルールが適用されます。

- 10秒までのわずかな遅延がある場合、マウスポインタが"砂時計"の形で表示されます。
- それより長く、期間のわからない遅延の場合、プロセスが実行中であることがアニメーションで表示されます。

現在の処理に関する情報

アニメーションが表示される場合は、「ライセンスキーを転送しています...」のように現在の処理段階を示すメッセージも表示されます。

処理のキャンセル














機能の中断が許可されると、ダイアログに [キャンセル] ボタンが表示されます。

3.2 Automation License Manager のステータスアイコン







ライセンスキーに対する意味

注記




アイコンの中には、次の表の説明列で**非動作**と表示されるものがあります。このようなアイコンが付いたライセンスキーは操作できません。これは、アクティベーションコードを受信しなかった、不完全なオフライン転送が原因の可能性がります。

アイコン	説明
	不明なライセンスキーのステータス
	ライセンスキーOK
	最後の問い合わせ時に使用中のライセンスキー
	ライセンスキーが不正 (ホットラインからのサポートにより回復する)
	無効 - 不明なライセンスキーのステータス
	非動作 - ライセンスキーは使用可能だが有効ではない
	非動作 - ライセンスキーが不正 (ホットラインからのサポートにより回復する)
	期間限定ライセンスキーの正規利用期間が期限切れ
	期間限定ライセンスキーの追加の猶予利用期間
	要求の時点で使用されていた期間限定ライセンスキーの、追加の猶予利用期間
	期間限定ライセンスキーの正規利用期間および追加の猶予利用期間が完全に期限切れ
	使用可能なライセンスキーの制限数を超えました。使用可能なライセンスキーはありません。
	ライセンスキーを転送できません。



インストール済みのソフトウェアに対する意味

アイコン	説明
	コンピュータ上のソフトウェアに対する基本アイコン
	ソフトウェアに有効なライセンスキーがある
	ソフトウェアは、ライセンスキーを必要としない
	ソフトウェアはコンピュータにインストールされている>ライセンスキーはすでに利用されている
	ソフトウェアはコンピュータにインストールされている>有効なライセンスキーが存在しない
	ソフトウェアはコンピュータにインストールされている>有効なライセンスキーは存在するが欠陥がある

[ログ]ビューのステータスの意味

アイコン	説明
	情報を示します
	警告を示します
	エラーを示します

フォルダの意味

アイコン	説明
	コンピュータ接続を保存できるフォルダを表します。
	ライセンスキーを保存できるライセンスキーフォルダを表します。

3.2.1 ショートカット

MICROSOFT 標準

ショートカット	目的
F1	オンラインヘルプを呼び出す
F5	アクティブウィンドウを更新する
CTRL + A	すべてを選択する
CTRL+P	現在のオブジェクト表示を印刷する
Ctrl + X	切り取り
CTRL + V	貼り付け
ALT + SPACE	現在のウィンドウのシステムメニューを開く
ALT+F4	アクティブな要素またはプログラムを閉じる

3.3 Automation License Manager の表示

3.3.1 デフォルトビュー

Automation License Manager では、インストール後に以下のデフォルトビューを使用できます。

デフォルトビュー	説明
検索結果	左側の[検索]ビューに検索オプションを表示し、検索の正常終了後、右側に関連した検索結果を表示します。
ライセンスキー	[管理]ビューに、選択したドライブ上で使用可能なすべてのライセンスキーを表示します。
インストール済みのソフトウェア	選択したコンピュータにインストール済みのライセンスキーの必要なソフトウェア製品を表示します。 インストール済みのソフトウェアを表示する際に、2番目の数字が[バージョン]列に括弧で表示される場合には、その括弧で示されているライセンスキーのバージョンが、インストール済みの製品バージョンに使用されています。
不足しているライセンスキー	ライセンスキーが欠落しているインストール済みのソフトウェアを表示します。
ライセンス済みソフトウェア	選択したコンピュータ上でライセンスキーが使用可能なインストール済みのソフトウェア製品を表示します。

注記

デフォルトビューはコピーのみできます; 変更や削除はできません。

3.3.2 [管理]、[検索]、および[ログ]ビューの概要

[表示]管理/検索/ログ]メニューコマンドを選択することによって、Automation License Manager のさまざまなビューにアクセスすることができます。

ビュー	説明
[管理]	<ul style="list-style-type: none">• コンピュータおよびフォルダによる構造を表示します• ライセンス管理用のタスクをすべて実行できるようにします
[検索]	<ul style="list-style-type: none">• [検索]ダイアログおよび各検索結果を表示します
[ログ]	<ul style="list-style-type: none">• ローカルおよびネットワークのコンピュータを表示します• ライセンスキーの転送に関する情報を表示します。• ログのエントリを表示します

複数ビューの操作

現在、Automation License Manager のワークエリアで一度に操作できるのは1つのビューだけです(Windows エクスプローラと同様)。ただし、Automation License Manager は複数回起動できます。

Automation License Manager の複数のセッションを開くことにより、アプリケーション内および2つのウィンドウ間でライセンスキーを移動できます。

注記

Automation License Manager には、ユーザー固有の設定を自動的に保存するセッションログがあります。

3.3.3 [管理]ビュー

[管理]ビューでは、使用可能なビューを選択し有効にする、あるいは独自のビューを定義することができます。Automation License Managerは、数個の事前定義された管理ビューのデフォルトビューを備えます。

手順

1. [ビュー|管理]メニューコマンドを使って表示を選択します。
2. メニューバーのドロップダウンリストボックスで現在選択されているビューが、オブジェクトエリアの情報表示に使用されます。
3. [ビュー|定義]メニューコマンドでは、[ビューの定義]ダイアログが開きます。ここでは、既存のビューを使用して情報にアクセスしたり、新しいビューを定義したりすることができます。

ウィンドウの定義

ボタン	説明
OK	[使用可能なビュー]リストで選択したビューがオブジェクトエリアでの情報の表示に使用されます。
適用	ビューは、拡張された[ビューの編集]エリアで編集することができます。 [適用]をクリックすると、変更が有効になります。
キャンセル	変更を適用せずに、[ウィンドウの定義]ダイアログを閉じます。
新規作成	新規ビューを定義します。
コピー	既存のビューをコピーします。
削除	既存のビューを削除します。

[新規作成]、[コピー]および[削除]ボタン

[新規作成]、[コピー]および[削除]ボタンは、[使用可能なビュー]リストで表示されているビュー上で動作します。

[ビューの編集]エリア

ビューの名前は[名前]フィールドに表示されます。この名前は、オブジェクトエリアの列見出しのビューおよびツールバーのドロップダウンリストボックスに表示されます。

ラジオボタンを使用して、表示させるフィルタ処理したビューの内容を事前に選択することができます。

- ライセンスキー - ライセンスキー情報のみを選択に使用することができます。
- ソフトウェア-ソフトウェア情報のみを選択に使用することができます。

その後のタブでは、以下のようにビューの内容およびレイアウトを定義することができます:

- 列,
- フィルタ,
- グループおよび
- ソート.

3.3.4 [検索]ビュー

Automation License Manager の[検索]ビューでは、ライセンスキーおよびインストール済みソフトウェアに関する情報を検索できます。

手順

1. **[表示|検索]**メニューコマンドを使って表示を選択します。
2. [検索]エリアで以下の設定を行ないます。
 - 必要に応じて、**[検索語]**および/または**[製品]**を入力します。
 - **[保存先]**、**[標準ライセンスタイプ]**、**[ライセンスタイプ]**、**[ステータス]**、および**[ユーザーにより使用中]**リストから検索基準を選択します。
3. **[検索]**ボタンをクリックして、検索を実行します。

結果: 検索結果はオブジェクトエリアに表示されます。

例: ネットワークのライセンスキーを検索する

1. **[表示|検索]**メニューコマンドを使って表示を選択します。
2. [検索]エリアで以下の設定を行ないます。
 - たとえば、**[検索語]**編集ボックスに用語**"STEP 7"**を入力します。
 - **[保存先]**リストで、**[すべて]**を選択します。
 - **[検索]**ボタンをクリックします。

結果:

次の条件に当てはまるライセンスキーがすべて表示されます。

- 用語**"STEP 7"**を含み、かつ
- 使用中のコンピュータまたはネットワークコンピュータに存在する

3.3.5 [ログ]ビュー

[ログ]ビューは、ライセンスキーに関するすべての操作についての情報を提供します(ソフトウェアによるライセンスキーの使用、ライセンスキーの転送など)。

ログを開く

1. **[表示|ログ]**メニューコマンドを使用して、ビューを選択します。
2. オブジェクトエリアで、ログを開きたい場所(マイコンピュータ、ネットワークコンピュータ)を選択します。
3. 必要な数のエントリを選択、またはログを表示する期間を選択します。
4. システムエントリを表示させたい場合は、**[システムエントリ]**チェックボックスも選択します。
システムエントリは、カスタマーサポートおよび Automation License Manager システムに関連する追加エントリです。
5. フィルタを使用したい場合は、**[フィルタ]**チェックボックスを選択します。ドロップダウンリストボックスから、必要なフィルタを選択します。
6. **[更新]**をクリックします。

結果: 選択した基準に一致するログのエントリが表示されます。

ログの印刷

1. ログを開きます。
2. ログを印刷するには、**[ファイル|印刷]**メニューコマンドを選択します。
3. 必要に応じて設定を修正し、**[OK]**でダイアログを確認します。

結果: 表示されたログのエントリが印刷されます。

ログのアーカイブ

1. ログを開きます。
2. ログを保存するには、**[ファイル|エクスポート]**メニューコマンドを選択します。
3. ドライブおよび記憶装置のパスを入力します。

結果: 表示されたログのエントリが、指定したパスに CSV フォーマットで格納されます。

[ログの削除]

1. ログのすべてのエントリを削除するには、**[編集|ログの削除]**メニューコマンドを選択します。

結果: 選択したコンピュータのログのエントリがすべて削除されます。

3.4 ライセンスキーの取扱い

3.4.1 ライセンスキーのインストール

ソフトウェア製品のインストール中にライセンスキーのインストール

一部のソフトウェアでは、プログラム自体のインストール(セットアップ)中に必要なライセンスキーをインストールできます。ライセンスキーはソフトウェアがインストールされるコンピュータにインストールされます。

注記

セットアッププログラム中は、**Upgrade** ライセンスキーをインストールすることができないことにご注意ください。

3.4.2 インストール済みライセンスキーの表示

[表示|管理]メニューコマンドを使用して、すべてのインストール済みライセンスキーを一覧表示することができます。

手順

1. **[ビュー|管理]**メニューコマンドを使って表示を選択します。
2. ナビゲーションエリアで、インストール済みライセンスキーを確認したい、コンピュータ(マイコンピュータまたはネットワークコンピュータ)およびドライブを選択します。
3. **[ビュー|定義]**メニューコマンドでは、**[ビューの定義]**ダイアログが開きます。
4. **[ライセンスキー]**ビューを選択し、**[OK]**をクリックします。

結果: コンピュータにインストールされたライセンスキーが表示されます。

注記

使用可能なライセンスキーが対応するコンポーネントによって認識されない場合は、以下の列を確認します。

- バージョン
 - 有効期限
 - ステータス(ライセンスキーを選択し、**[表示]更新[ライセンスキー]確認**を選択します)
-

リストの印刷またはエクスポート

リストは、次の操作ができます。

- **[ファイル]印刷**メニューコマンドを選択することによって印刷、あるいは
- メニューコマンド**[ファイル]エクスポート**でエクスポートできます。

3.4.3 インストール済みソフトウェアの表示

[表示|管理]メニューコマンドを選択することによって、動作にライセンスキーが必要な、すべてのインストール済みソフトウェア製品を一覧表示することができます。

手順

1. [ビュー|管理]メニューコマンドを使って表示を選択します。
2. [ビュー|定義]メニューコマンドでは、[ビューの定義]ダイアログが開きます。
3. [インストール済みのソフトウェア]ビューを選択し、[OK]をクリックします。

結果: コンピュータ上にインストール済みの、ライセンスキーを使用した新しいライセンスコンセプトをサポートしている **Siemens AG** ソフトウェア製品が表示されます。

注記

インストール済みのソフトウェアを表示する際に、2番目の値が[バージョン]列に括弧で示される場合には、その括弧で示されているライセンスキーのバージョンが、インストール済みの製品バージョンに使用されています。

リストの印刷またはエクスポート

リストは、次の操作ができます。

- [ファイル|印刷]メニューコマンドを選択することによって印刷、あるいは
- メニューコマンド[ファイル|エクスポート]でエクスポートできます。

3.4.4 ライセンスキーの転送

さまざまな保存先(たとえば、コンピュータ、USB メモリスティック、ライセンスキーフォルダ)の間でライセンスキーを転送するには、以下のオプションを使用することができます。

1. ドラッグアンドドロップ操作を使用する
2. カットアンドペースト操作を使用する
3. **[ライセンスキー|転送]**メニューコマンドを使用する
4. **[ライセンスキー|オフライン転送]**メニューコマンドを使用すると、開始コード、要求コード、およびアクティベーションコードを手動で転送することができます(**[ライセンスキーのオフライン転送]**ダイアログを参照してください)。

ドラッグアンドドロップを使用したライセンスキーの転送

1. **[ビュー|管理]**メニューコマンドを使って表示を選択します。
2. 移動させたいライセンスキーのある、ローカルまたはネットワークコンピュータの保存ロケーションを開きます。
3. ライセンスキーを選択し、ライセンスキーを配置したい保存先にそれをドラッグします。

結果: ライセンスキーが転送されます。

切り取りと貼り付けによるライセンスキーの転送

1. **[ビュー|管理]**メニューコマンドを使って表示を選択します。
2. 移動させたいライセンスキーのある、ローカルまたはネットワークコンピュータの保存ロケーションを開きます。
3. 転送したいライセンスキーを選択します。
4. メニューコマンド**[編集|切り取り]**を選択します。
5. お使いのコンピュータまたはネットワークコンピュータ上の、ライセンスキーを移動させたい保存先を開きます。
6. **[編集|貼り付け]**メニューコマンドを選択します。

結果: ライセンスキーが転送されます。

[ライセンスキー|転送]メニューコマンドを使用したライセンスキー転送:



1. まず、別の保存先に転送したいライセンスキーを選択します。
2. **[ライセンスキー|転送]**メニューコマンドを選択して、**[ライセンスキーの転送]**ダイアログボックスを開きます。
3. 宛先ドライブが別のネットワークコンピュータ上にある場合は、ドロップダウンリストボックスで希望する宛先ドライブを選択するか、または**[ネットワーク...]**をクリックします。
4. コンピュータ名を入力、またはドロップダウンリストボックス内にある希望するコンピュータを選択します。あるいは
 - **[参照]**をクリックして、**[コンピュータの検索]**ダイアログを開きます。
 - **[ネットワーク全体]**をクリックし、次いで**[Microsoft Windows ネットワーク]**をクリックします。
 - コンピュータがドメインにある場合は、そのドメインを選択します。
 - 次に、希望するコンピュータを選択し、**[OK]**をクリックして選択を確認します。選択したコンピュータにも、**Automation License Manager** をインストールする必要があることにご注意ください。
5. **[OK]**をクリックして選択を確認し、ダイアログを閉じます。

3.4.5 フォルダの作成

構造化された方法で既存のコンピュータ接続とライセンスキーを保存するために、フォルダを作成できます。コンピュータ接続は一般的なフォルダに保存されます。追加のアイコンで表されるライセンスキーとこれらのフォルダを保存するには、特別なライセンスフォルダが必要です。

新しいフォルダの作成に関する依存関係:

新しいフォルダは、作成される場所によって、一般的なフォルダまたはライセンスキーフォルダになります。

アイコン	説明
	コンピュータ接続を保存できるフォルダを表示します。 そのようなフォルダを作成するには、ナビゲーションエリアでフォルダを作成する前に、以下を代わりに選択します。 <ul style="list-style-type: none"> マイデスクトップ
	ライセンスキーを保存できるライセンスキーフォルダを表示します。 そのようなフォルダを作成するには、ナビゲーションエリアでフォルダを作成する前に、以下を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ローカルデータキャリア 既に存在しているライセンスキーフォルダ

手順

1. [管理]ビューを選択します。
2. メニューバーにあるドロップダウンリストで、[ライセンスキー]表示を選択します。
3. 上の表に記載されているように、ナビゲーションエリアで必要なオブジェクトを選択します。
4. 一般的なフォルダを作成するには、[マイデスクトップ]を選択します。
5. ライセンスキーフォルダを作成するには、[ローカルデータキャリア]または既に存在するライセンスキーフォルダを選択します。
6. ショートカットメニューまたはメニューを使用して、[編集]新規フォルダ]コマンドを選択します。
7. 以下の[新規フォルダの追加]で、新規フォルダの名前を入力します。
8. [OK]をクリックして確認します。



結果: ユーザーが割り当てた名前が、新規フォルダがナビゲーションエリアに表示されます。

3.4.6 フォルダ内のライセンスキーの管理

フォルダ内のライセンスキーの保存と管理

バージョン V5.2 以降の Automation License Manager では、ライセンスキーを管理するための特別なライセンスキーフォルダを作成できます。

Automation License Manager のフォルダは、以下のアイコンによって表されます。

アイコン	説明
	コンピュータ接続を保存できるフォルダを表します。
	ライセンスキーを保存できるライセンスキーフォルダを表します。

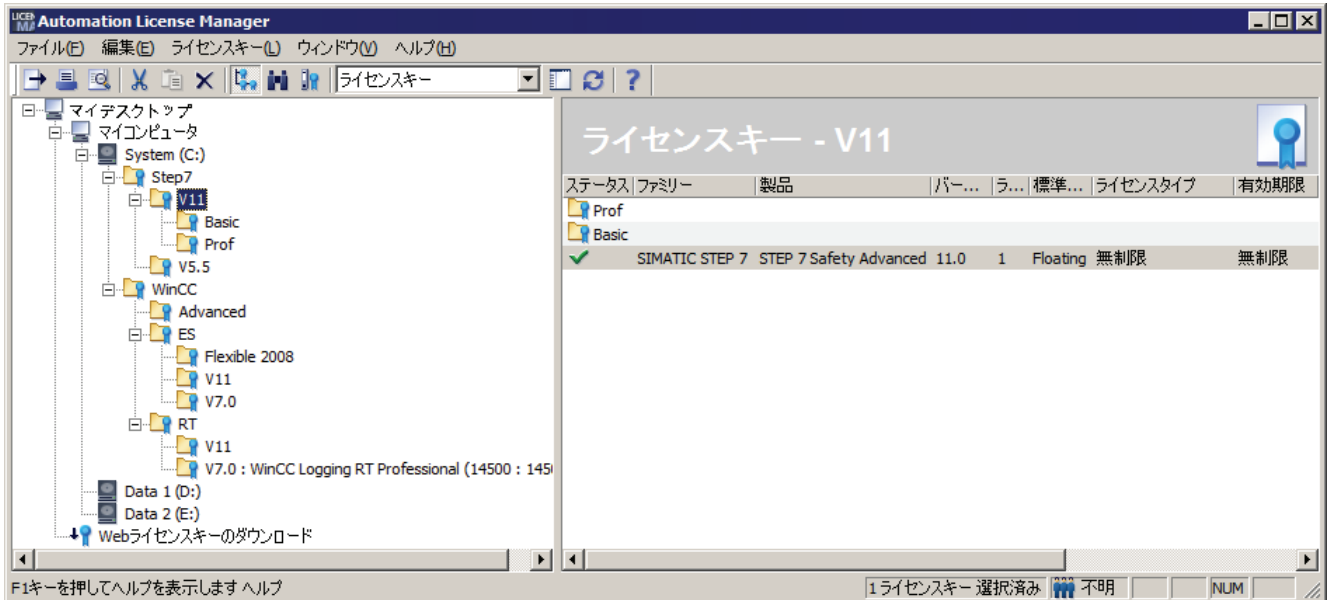
ライセンスキーフォルダを使用した操作

ライセンスキーフォルダは、ドラッグアンドドロップ操作、切り取り、貼り付け、名前の変更によって、通常通りに移動することができます。

空のライセンスフォルダも削除できます。この操作は、フォルダにライセンスキーが含まれているときには実行できません。

ライセンスキーフォルダ内のライセンスキーの保存

ライセンスキーフォルダの作成によって、階層的に構造化された製品とバージョンを具体的な方法で保存することができます。ここでは、既存のライセンスキーのさらなる概要を以下の例に示します。



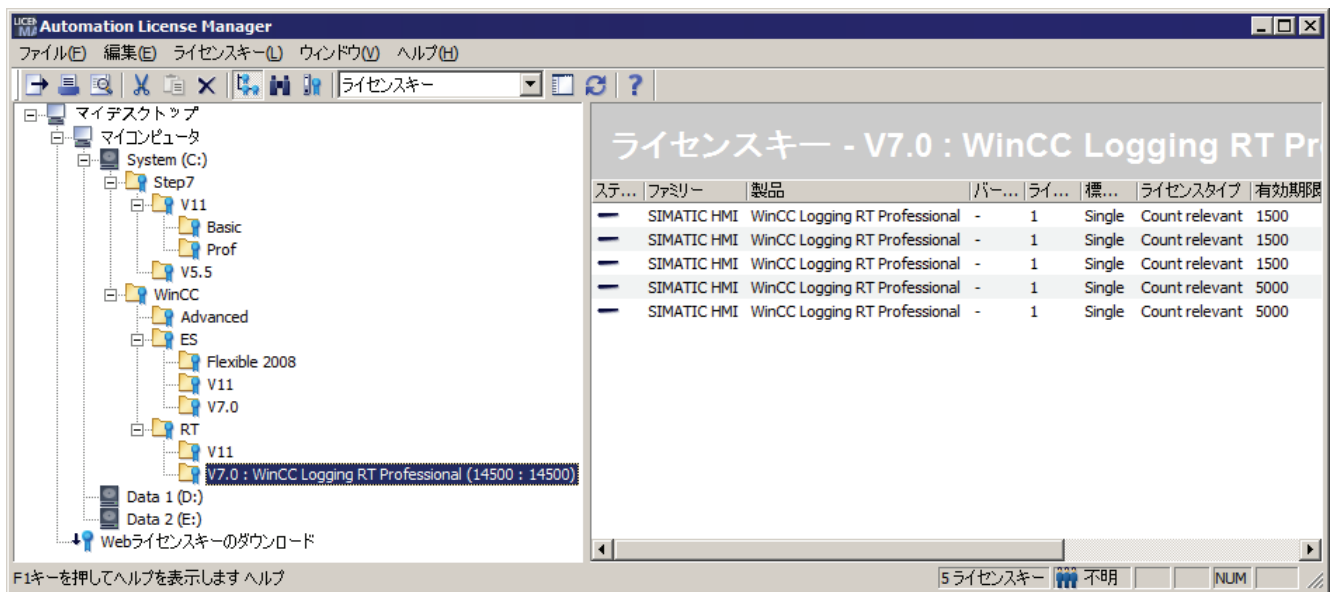
上図に示すように、ユーザーはフォルダ階層なしでライセンスキーを保存することもできます。反対に、使用可能なライセンスキーフォルダがある場合、それが最初に表示され、その後そのライセンスフォルダに各ライセンスキーが保存されます。

3.4 ライセンスキーの取扱い

ライセンスの有効性の表示

ライセンスキーフォルダのさらなる利点は、「Count relevant」または「Countable Objects」のタイプのライセンスキーの場合に、使用可能な「タグ」(変数またはアプリケーション固有のオブジェクト)の合計数が、フォルダ名の後の括弧に表示されることです。以下の例に示すように、開いたフォルダには、異なった有効性を持った複数のライセンスキーが含まれていて、そのフォルダ名の後の括弧に合計数として表示されます。

最初の数字はまだ使用可能なタグの数を示し、コロン後の2番目の数字は使用可能なタグの合計数を示します。



注記

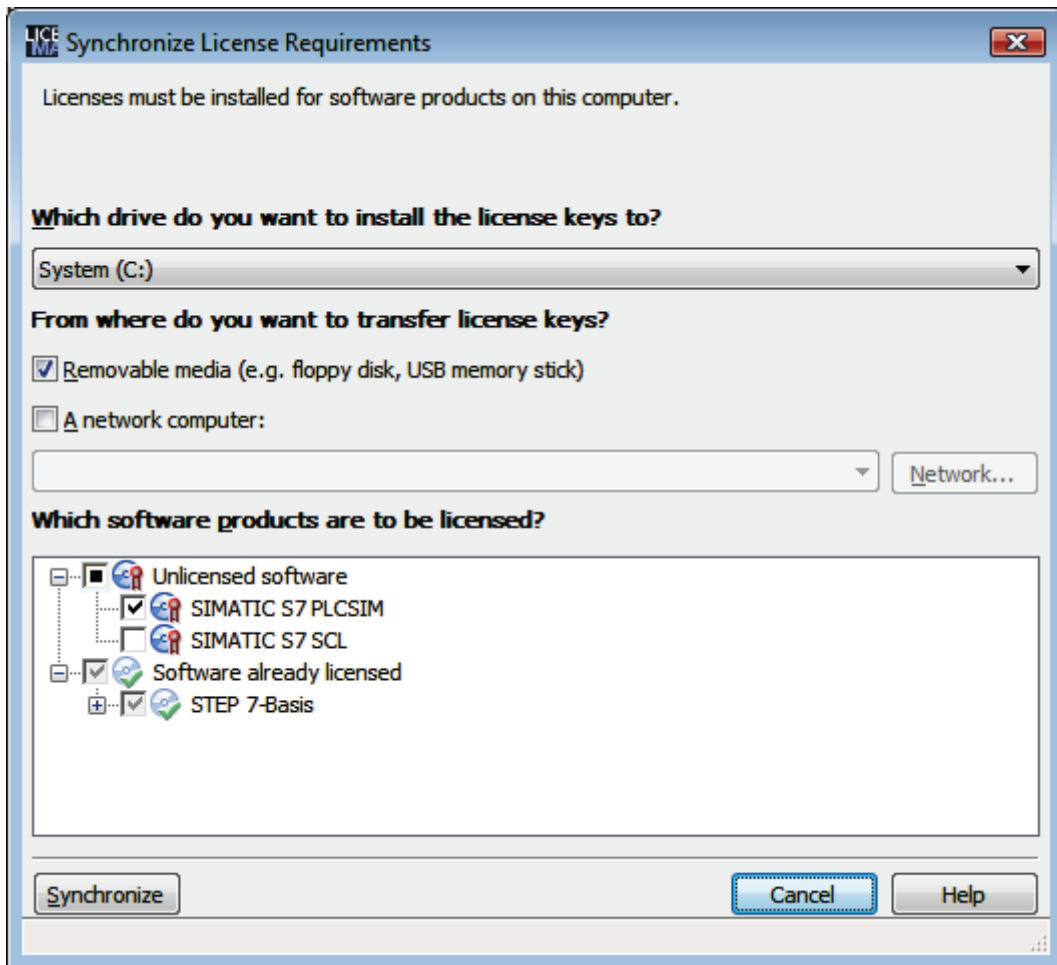
ライセンスキーフォルダにライセンスキーが含まれているときは、ライセンスキーフォルダを削除できないことに注意してください。ライセンスキーフォルダは、空のときのみ削除できます。

3.4.7 ライセンス要求の決定および同期化

ライセンスキーがまだ使用可能であれば、以下のダイアログボックスを使用して、ライセンスキーがまだないお使いのコンピュータ上のソフトウェア製品にライセンスを与えることができます。

手順

1. **[表示|定義]**メニューコマンドを使用して、事前定義されたビュー[インストール済みソフトウェア]、[不足しているライセンスキー]、または[許可されたソフトウェア]のいずれかを選択します。
2. **[ライセンスキー|ライセンス要求の同期化]**メニューコマンドを選択します。
 - ドロップダウンリストボックスで、インストールするライセンスキーがあるドライブを選択します。
 - 転送するライセンスキーの転送元のオプションを選択します。[ネットワーク]ボタンを使用すると、ネットワーク内の任意のコンピュータに移動することができます。
 - **[どのソフトウェア製品にライセンスを受けますか?]**フィールドに、お使いのコンピュータ上の、有効なライセンスがないソフトウェア製品が表示されます。すでにライセンスがあるソフトウェアは、表示されますが選択することができません。"+"をクリックして、ソフトウェアごとに、どのライセンスキーが使用可能か表示します。



3. ここで、表示されているソフトウェア製品の中からライセンスを与えるものを選択し、[OK]をクリックします。ライセンスを与えるソフトウェアパッケージが選択されると、[OK]ボタンが有効になります。
4. 指定された転送元コンピュータに有効なライセンスキーが含まれていないなどの理由で、選択済みのソフトウェアパッケージがライセンスを受けられない場合は、メッセージを受け取ります。そしてこのダイアログが再度表示されます。

3.4.8 ライセンスキーのオフライン転送

[ライセンスキー|オフライン転送]メニューコマンドでは、[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログが開きます。

注記

ライセンスキーのオフライン転送を行うには、両方のコンピュータ(転送元および転送先)上に、Automation License Manager も、ライセンスキーを使用するソフトウェアもインストールする必要があります。

実行するオフライン転送を選択し、[次へ]をクリックします。

この場合、以下のどれかを選択します。

- 開始コードの生成
- 要求コードの生成
- アクティベーションコードの生成
- ライセンスキーの有効化

オフライン転送のウィザードでは、ステップバイステップで転送を行うことができます。

3.4.9 オフライン転送の実行 - 開始コードの生成

ソフトウェア用ライセンスキーがある転送元コンピュータで、このステップを行います。

[ライセンスキーの送信のウィザード]ダイアログ

- ライセンスキーを選択します
- 開始コードの生成

手順

1. ナビゲーションエリアで、必要なライセンスキーがあるドライブを選択します。
2. [ライセンスキー|オフライン転送]メニューコマンドを選択します。[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログが開きます。
3. [開始コードの生成]オプションを選択し、[次へ]をクリックします。[ライセンスキーの送信のウィザード]ダイアログが開きます。すべての使用可能なライセンスキーの開始コードがリストに含まれます。
4. この表で、転送させるライセンスキーを選択します。
5. [保存]をクリックします。開始コードを保存するパスおよびライセンスプロファイルファイルを選択して、[保存]ボタンをクリックします。
6. [次へ]をクリックします。
7. 開始コードを転送先コンピュータに転送します。例:
 - ライセンスプロファイルファイルをメールで転送
 - 開始コードを電話で転送
 - プリントアウトを FAX で転送
8. ダイアログを閉じ、要求コードを後で入力したい場合は、[中止]をクリックします。

リストでの選択項目	操作
1つのライセンスキー	クリック
すべてのライセンスキー	CTRL + A
連続したグループ	"先頭"をクリックし、Shift キーを押しながら"最後"をクリックする
複数を個別に	CTRL キーを押しながらクリックする

3.4.10 オフライン転送—要求コードを生成する

ソフトウェア用ライセンスキーを転送する先の転送先コンピュータで、このステップを行います。

[ライセンスキーの受信のウィザード]ダイアログ

- 開始コードの入力
- 要求コードの生成

注記

ライセンスキーのオフライン転送を行うには、両方のコンピュータ(転送元および転送先)上に、Automation License Manager も、ライセンスキーを使用するソフトウェアもインストールする必要があります。

手順

1. [ライセンスキー|オフライン転送]メニューコマンドを選択します。[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログが開きます。
2. [要求コードの作成]オプションを選択し、[次へ]をクリックします。[ライセンスキーの受信のウィザード]ダイアログが[開始コードの入力]リストと一緒に開きます。
3. データ転送の形式に応じて、以下の手順を選択します。

データ転送の形式	手順
電子形式のデータ(ディスク、電子メールなど)	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ロード]をクリックします。 2. [開く]ダイアログで、開始コードを含むライセンスプロファイルファイルのパスとファイル名を選択します。 3. [開く]をクリックします。 データが[開始コードの入力]リストに入力されます。
たとえば FAX による印刷形態、または電話を介したデータ(データは、オペレータによって手動で入力する必要があります)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ダイアログボックスの表にある[開始コード]列の最初の行をダブルクリックします。 2. [開始コード]列に開始コードを入力します。

3.4 ライセンスキーの取扱い

4. [次へ]をクリックします。[ライセンスキーの受信のウィザード]ダイアログが[ライセンスキーの選択]リストと一緒に開きます。
5. ローカルコンピュータのドライブに転送するライセンスキーを選択します。

リストでの選択項目	操作
1つのライセンスキー	クリック
すべてのライセンスキー	CTRL + A
連続したグループ	"先頭"をクリックし、Shift キーを押しながら"最後"をクリックする
複数を個別に	CTRL キーを押しながらクリックする

6. [ライセンスキーをインストールするドライブ]リストで、ローカルコンピュータ上のドライブを選択します。
7. [次へ]をクリックします。[ライセンスキーの受信のウィザード]ダイアログが[要求コードの表示]リストと一緒に開きます。
8. [保存]をクリックします。要求コードを保存するパスおよびライセンスプロファイルファイルを選択して、[保存]ボタンをクリックします。
9. [次へ]をクリックします。[ライセンスキーの受信のウィザード]ダイアログが[アクティベーションコード]リストと一緒に開きます。
10. 要求コードを転送元コンピュータに転送します。例:
 - ライセンスプロファイルファイルをメールで転送
 - 要求コードを電話で転送
 - プリントアウトを FAX で転送
11. ダイアログを閉じ、アクティベーションコードを後で入力したい場合は、[中止]をクリックします。

3.4.11 オフライン転送の実行 - アクティベーションコードの作成

ソフトウェア用ライセンスキーがある転送元コンピュータで、このステップを行います。

[ライセンスキーの送信のウィザード] ダイアログ

- 要求コードを入力します
- ライセンスキーを削除します
- アクティベーションコードの生成

手順

1. [ライセンスキー|オフライン転送]メニューコマンドを選択します。[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログが開きます。
2. [アクティベーションコードの作成]オプションを選択し、[次へ]をクリックします。[ライセンスキーの送信のウィザード]ダイアログが[要求コードの入力]リストと一緒に開きます。
3. データ転送の形式に応じて、以下の手順を選択します。

データ転送の形式	手順
電子形式のデータ(ディスク、電子メールなど)	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ロード]をクリックします。 2. [開く]ダイアログで、これらの要求コードを含むライセンスプロファイルファイルのパスとファイル名を選択します。 3. [開く]をクリックします。 データが[要求コードの入力]リストに入力されます。
たとえば FAX による印刷形態、または電話を介したデータ(データは、オペレータによって手動で入力する必要があります)	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ロード]をクリックします。 2. [開く]ダイアログで、開始コードを含むライセンスプロファイルファイルのパスとファイル名を選択します。 3. ダイアログボックスの表にある[要求コード]列の対応する行をダブルクリックします。 4. 要求コードを[要求コードの入力]リストに入力します。

4. [次へ]をクリックします。[ライセンスキーの削除]リストが開きます。
5. [保存]をクリックします。アクティベーションコードを保存するパスおよびライセンスプロファイルファイルを選択して、[保存]ボタンをクリックします。
6. [次へ]をクリックします。[アクティベーションコードを計算する: 確認]ダイアログが開きます。

3.4 ライセンスキーの取扱い

7. ダイアログを[はい]で確認します。[ライセンスキーの送信のウィザード]ダイアログの[ライセンスキーの削除]リストに表示されたライセンスキーが削除され、[アクティベーションコードの表示]ダイアログが開きます。
8. アクティベーションコードを転送先コンピュータに転送します。例:
 - ライセンスプロファイルファイルをメールで転送
 - アクティベーションコードを電話で転送
 - プリントアウトを **FAX** で転送
9. [終了]をクリックして、ダイアログを閉じます。

3.4.12 オフライン転送の実行 - ライセンスキーの有効化

ソフトウェア用ライセンスキーを転送する先の転送先コンピュータで、このステップを行います。

[ライセンスキーの受信のウィザード]ダイアログ

- アクティベーションコードを入力します
- ライセンスキーの有効化

手順

1. [ライセンスキー|オフライン転送]メニューコマンドを選択します。[ライセンスキーのオフライン転送]ダイアログが開きます。
2. [ライセンスキーの有効化]オプションを選択し、[次へ]をクリックします。[ライセンスキーの受信のウィザード]ダイアログが[アクティベーションコードの入力]リストと一緒に開きます。
3. データ転送の形式に応じて、以下の手順を選択します。

データ転送の形式	手順
電子形式のデータ(ディスク、電子メールなど)	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ロード]をクリックします。 2. [開く]ダイアログで、これらのアクティベーションコードを含むライセンスプロファイルファイルのパスとファイル名を選択します。 3. [開く]をクリックします。 データが[アクティベーションコードの入力]リストに入力されます。
たとえば FAX による印刷形態、または電話を介したデータ(データは、オペレータによって手動で入力する必要があります)	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ロード]をクリックします。 2. [開く]ダイアログで、これらの要求コードを含むライセンスプロファイルファイルのパスとファイル名を選択します。 3. ダイアログボックスの表にある[アクティベーションコード]列の対応する行をダブルクリックします。 4. アクティベーションコードを[アクティベーションコードの入力]リストに入力します。

4. [次へ]をクリックします。
5. [終了]をクリックして、ダイアログを閉じます。

結果:

有効なライセンスキーが[ライセンスキーの受信のウィザード]ダイアログの[結果]リストに表示されます。

ライセンスキーは、転送元コンピュータから転送先コンピュータに転送されます。

3.4 ライセンスキーの取扱い

エラーメッセージ

転送中にエラーが発生すると、[ライセンスキーの受信のウィザード]ダイアログが、[間違ったアクティベーションコード]リストと一緒に開きます。これが発生した場合は、"ライセンス管理のサポートに問い合わせてください。

3.4.13 ライセンスキーをオフライン転送するためのライセンスプロファイルファイル

ライセンスプロファイルファイルは、ライセンスキーの(オフライン)転送の情報を交換するために使用されます。(オフライン)転送は5つの手順で実行されます。ライセンスプロファイルファイルには、プロセスの各手順ごとに異なるデータが含まれています。

データの転送

ライセンスプロファイルファイルは、電子的なフォーム(フロッピーディスクまたは電子メールにより)で提供されます。

ライセンスプロファイルファイルの有効性

注記

ライセンスプロファイルファイルは、ライセンスキーのグループの1回限りの転送にのみ有効です。生成は新しいファイルでのみ繰り返すことができます。

ライセンスプロファイルファイルにはオフライン転送用に以下のデータが保存されます。

- 製品名 - コンポーネントの名前
- ライセンス番号 - ライセンスキー転送の固有の番号
- 開始コード
- 要求コード
- アクティベーションコード

3.5 Web ライセンスキーのダウンロード

3.5.1 Webライセンスキーのダウンロード

ソフトウェアダウンロードから、注文したライセンスキーにアクセスすることができます。

必要条件

アクセスするには、以下のものがが必要です。

- "会社"に割り付けられたライセンスキーをすべて引き出すのに使用できる個別のログオン
- 個々のライセンスキーおよび CoL (ライセンスの認定書)を引き出すのに使用できる匿名ログオン。このドキュメントには、匿名ダウンロードに必要なすべてのデータが含まれています。

手順

お使いのコンピュータが、独立型のネットワークまたは低セキュリティレベルのネットワークに配置されている場合は、以下の手続きを行うようお勧めします。

1. オートメーションシステムの外側に配置されているインターネットアクセスによって、やはり **Automation License Manager** をコンピュータにインストールします。
2. ライセンスキーの **Web** ダウンロードを実行します(以下のセクションを参照)。
3. ライセンスキーをライセンスキーディスクレットに転送し、次にライセンスキーディスクレットからオートメーションシステムのコンピュータに転送します。

注

転送媒体にウイルスがないことを常に検証してください。

Web ライセンスキーのダウンロード

1. **[管理]**ビューを選択します。
2. ナビゲーションエリアで**[Web ライセンスキーのダウンロード]**をクリックします。コンピュータがインターネットにアクセスできれば、Automation Download Manager によってオブジェクトエリアにウィンドウが開きます。
3. ライセンスキーをダウンロードするには、ダウンロードウィンドウの指示に従います。

注

- ソフトウェアダウンロードサーバーが使用できないというエラーメッセージを受け取った場合は、ファイアウォール設定を確認し、必要に応じてシステム管理者に問い合わせます。
 - ソフトウェアダウンロードサーバーが今のところ動作準備できていないというエラーメッセージを受け取った場合は、しばらくして再度試みます。
-

3.5.2 Webライセンスキーのダウンロード - **[戻る]**ボタン

[戻る]ボタンを使用すると、前に表示したページに戻ります。

- **[戻る]**ボタンをクリックする前に見たいページを表示したい場合は、**[進む]**ボタンをクリックします。

3.5.3 Webライセンスキーのダウンロード - **[キャンセル]**ボタン

[キャンセル]ボタンを使用すると、現在のページのダウンロードを中止します。

3.5.4 Webライセンスキーのダウンロード - **[進む]**ボタン

[進む]ボタンを使用すると、前に表示したページに戻ります。

注記

[進む]ボタンは、**[戻る]**ボタンをクリックすると選択できるようになります。

3.5.5 Webライセンスキーのダウンロード - **[開始ページ]**ボタン

[開始ページ]ボタンにより、"Web ライセンスキーのダウンロード"の開始ページに移動します。

3.6 ネットワークにおけるライセンスキーの使用

3.6.1 ネットワークの既存ライセンスキーの検索

ネットワークで使用可能なライセンスキーによるソフトウェアの使用

ネットワークコンピュータ上で使用できる **Floating** ライセンスキーにより、ローカルでライセンスキーを使用できない場合でもプロテクトされたソフトウェアの操作が可能です。

注記

ネットワークコンピュータ上のライセンスキーを検索するには、そのネットワークコンピュータをローカルコンピュータ上の **Automation License Manager** に入力する必要があります。

Floating ライセンスキーへのより迅速なアクセスのための推奨事項


できる限り少ないコンピュータのシステムに **Floating** ライセンスキーをインストールします。

注記

[ファイル]設定]メニューコマンドを選択した後、タブを選択した場合、[既知のコンピュータ]の下に、過去にどこかのポイントでローカル **Automation License Manager** に接続されていたコンピュータが表示されます。

Floating ライセンスキーへのアクセスを以下のように変更することができます。

1. **Floating** ライセンスキーが格納されているコンピュータが、[検索リスト]に入力されていることを確認します。これには、[編集|コンピュータの接続]メニューコマンドを選択します。
2. **Floating** ライセンスキーが格納されているコンピュータを[設定]ダイアログにある[検索リスト]の一番上の位置に移動し、不要なエントリを削除します。

ボタン	アイコン	説明
上へ移動		リスト内で選択したコンピュータの Floating ライセンスキー検索順序を変更するために、[上へ移動]アイコンをクリックします。選択したコンピュータを次に高い位置にシフトします(ビューの一番上の位置は最初のコンピュータなどに対応します)。
下へ移動		リスト内で選択したコンピュータの Floating ライセンスキー検索順序を変更するために、[下へ移動]アイコンをクリックします。選択したコンピュータを次に低い位置にシフトします(ビューの一番上の位置は最初のコンピュータなどに対応します)。
削除		リスト内で選択したコンピュータを Floating ライセンスキーの検索から削除するために、[削除]アイコンをクリックします。

3.6.2 ネットワーク経由のコンピュータの接続

[編集]コンピュータの接続メニューコマンドでは、**[コンピュータの接続]**ダイアログが開きます。ここでは、ネットワークコンピュータへの接続を確立することができ、そのコンピュータのライセンスキーの管理を有効にします。

注記

Automation License Manager がインストールされているコンピュータのみ接続することができます。

手順

1. **[管理]ビュー**を選択します。
2. コンピュータ接続をフォルダに格納する場合は、事前に新規のフォルダを作成します。
3. **[編集]コンピュータの接続**メニューコマンドを選択します。
4. **[コンピュータ名]**の下に、ネットワーク上のコンピュータの名前を入力、またはドロップダウンリストボックスから名前を選択します。以下をコンピュータ名に使用することができます。
"コンピュータ名"または"コンピュータ名、ドメイン"および"IP アドレス"。
5. ネットワーク内のコンピュータを検索するには、**[参照]**をクリックします。
6. **[ネットワーク全体]**をダブルクリックします。
7. **[Microsoft Windows ネットワーク]**をダブルクリックします。
8. コンピュータがドメインにある場合は、そのドメインを選択します。
9. コンピュータを選択し、**[OK]**をクリックして確認します。
10. **[表示名]**の下に、コンピュータの"表示名"を入力することができます(デフォルト=コンピュータ名:ポート番号)。
11. Automation License Manager 再起動後に入力したコンピュータを使用可能にする場合は、**[ナビゲーションウィンドウに常に表示する]**チェックボックスを選択します。
12. ライセンスキーを検索するためのコンピュータのリストに、入力したコンピュータを組み込む場合は、**[検索リストに追加する]**チェックボックスを選択します。ネットワークコンピュータは、**[設定]ダイアログ([ファイル]設定)**メニューコマンドを選択の**[お気に入り]**タブに表示されます。
13. **[OK]**をクリックして確認します。

3.6 ネットワークにおけるライセンスキーの使用

結果: ナビゲーションエリアにコンピュータが追加される、あるいは[コンピュータのエラー接続]ダイアログが開きます。後者が発生した場合は、入力したコンピュータがネットワーク上で使用可能であることを確認します。

3.6.3 コンピュータ接続のエラー

ネットワーク接続経由で動作するコンピュータは **Floating** ライセンスキーのみを使用します。このセクションでは、ネットワークコンピュータ間の接続が失敗した場合の **Floating** ライセンスキーの応答について説明します。

ライセンスキーサーバー

ライセンスキーサーバーは、**Floating** ライセンスキーが格納されているコンピュータのことです。

ライセンスクライアント

ライセンスクライアントは、サーバーからの **Floating** ライセンスキーを使用するコンピュータのことです。

接続が失敗する場合の対策

ライセンスキーサーバー上の **Floating** ライセンスキーがライセンスクライアント上のソフトウェア製品によって使用され、この2つのコンピュータ間の接続が失敗する場合、以下の原因が考えられます。

- ソフトウェア製品がクラッシュしています。
- ネットワーク接続が中断されました。
- ライセンスクライアントがクラッシュしています。
- ライセンスキーサーバーがクラッシュしています。

ソフトウェア製品がクラッシュしている

ライセンスクライアント上の **Automation License Manager** は、ソフトウェア製品によるライセンスキーの使用をモニタしています。クライアントがクラッシュすると、**Automation License Manager** はすぐにライセンスキーサーバー上で適切なライセンスキーをリリースします。

ネットワーク接続が中断された

ライセンスキーサーバーへのネットワーク接続の失敗後、ライセンスキークライアント上のソフトウェア製品を最長 3 時間継続して使用することができます。

ライセンスキーサーバー上の **Floating** ライセンスキーは、最長 3 時間の間は引き続き"使用されま
ず"。

ソフトウェアが再起動するときにはライセンスキーは見つからないため、再割り当てできません。

シナリオ:

- 中断の継続が 3 時間未満の場合
 - ライセンスキーサーバー上の **Automation License Manager** は、ライセンスキークライアント(ライセンスキーを使用したコンピュータ)も、"使用されている"ライセンスキーも検出します。
 - 次にまだ有効な"使用されている、以前の"ライセンスキーを検出されたライセンスキークライアントに割り付けます。
- 中断の継続が 3 時間以上の場合
 - ライセンスキーサーバー上でライセンスキーがリリースされます。
 - ライセンスキークライアントは、最初のコンタクトの場合と同様に動作します。
 - 3 時間後、以前に接続されたライセンスキークライアントが自動的に有効なライセンスキーを見つけようとします。ライセンスキーが見つからない場合、ライセンスキーを使用できない場合のアプリケーション固有の反応を開始します(定められた時間の経過後に通知するなど)。

ライセンスキークライアントがクラッシュしている

- 中断が 3 時間未満の場合、ライセンスキークライアントはサーバーへの接続が確立されていることを検出し、自動的に"使用されている"ライセンスキーをもう一度要求します。
- 中断が 3 時間以上継続した場合、ライセンスキーサーバー上のライセンスキーがリリースされます。

ライセンスキーサーバーがクラッシュしている

- 中断が 3 時間未満の場合、ライセンスキークライアントはサーバーへの接続が確立されていることを検出し、自動的に"使用されている"ライセンスキーをもう一度要求します。
- 中断が 3 時間以上続く場合は、ライセンスキークライアントが自動的に有効なライセンスキーを見つけようとします。ライセンスキーが見つからない場合、ライセンスキーを使用できない場合のアプリケーション固有の反応を開始します(定められた時間の経過後に通知するなど)。

3.7 ライセンスキーの修復

3.7.1 ライセンスキーの確認

ライセンスキーの確認の手順:

1. [ビュー|管理]メニューコマンドを使って表示を選択します。
2. オブジェクトエリアで、保存されるライセンスキーを確認する保存先(マイコンピュータ、ネットワークコンピュータ、ライセンスキーフォルダ)を選択します。
3. 確認するライセンスキーを選択します。
4. [ライセンスキー|確認]メニューコマンドを選択します。

結果: 選択したライセンスキーが確認され、その結果が、ライセンスキー用ステータスアイコンを使用して表示されます。

3.7.2 ライセンスキーの回復

[ライセンスキー|回復]メニューコマンドでは、ライセンスキーを復元するためのダイアログが開きます。

手順

1. 復元するライセンスキーを選択し、[ライセンスキー|回復]メニューコマンドを選択します。
2. "ライセンス管理のサポート"に問い合わせ、ダイアログボックスに示されたデータを提供します。
 - 製品名
 - ライセンスキー番号
 - ライセンス番号
 - 要求コード
3. 提供されたアクティベーションコードを入力し、[OK]をクリックします。

結果: 不良ライセンスキーが回復完了し、使用できるようになります。

注記

オーソリゼーションはフロッピーディスク上でのみ、ライセンスキーはハードディスク上でのみ修復できます。

3.7 ライセンスキーの修復

3.7.3 ウィザードを使用したライセンスキーの回復

[ライセンスキー|回復ウィザード]メニューコマンドでは、[ライセンスキーの回復のウィザード]ダイアログが開きます。

[回復ウィザード]を使用して、ハードディスクの欠落または異常のために使用できなくなった1つ以上のライセンスキーを修復することができます。ライセンスキーを回復するには、"ライセンス管理のサポート"が必要です。

このウィザードでは、ステップバイステップでプロセス全体を実行することができます。以下のダイアログが呼び出されます。

- 回復ウィザード: ライセンスキーを選択します
- 回復ウィザード: リペアコードの入力
- 回復ウィザード: 結果

3.7.4 "ライセンス管理のサポート"のヘルプ

以下に、"ライセンス管理のサポート"に連絡を取るための言語別インターネットアドレスを示します。

ドイツ語	http://support.automation.siemens.com/WW/view/de/772175
英語	http://support.automation.siemens.com/WW/view/en/772175
フランス語	http://support.automation.siemens.com/WW/view/fr/772175
スペイン語	http://support.automation.siemens.com/WW/view/es/772175
イタリア語	http://support.automation.siemens.com/WW/view/it/772175
中国語	http://support.automation.siemens.com/CN/view/zh/772175
日本語	http://support.automation.siemens.com/WW/view/en/772175

"技術サポート"および"ライセンス管理のサポート"の従業員は、ドイツ語および英語で対応いたします。

3.8 Automation License Manager に対するアクセス保護

3.8.1 SIMATIC Logonの役割管理によるアクセス保護

SIMATIC Logon による役割管理

ユーザーおよびユーザーグループによる Automation License Manager 機能へのアクセスを調節するために、SIMATIC Logon オプションパッケージの役割管理を使用することができます。このアクセス保護は個別の機能に適用され、アプリケーション全体には適用されません。

- このアクセス保護により、ユーザーは Automation License Manager とその機能にアクセスするために、システムへのログオンを強制されます。
- 役割管理は、オペレーティングシステムのユーザーとユーザーグループに基づいています。
- 特定のタスクを役割に割り付けることにより(表を参照)、ユーザーとユーザーグループの権限を簡単に構成できます。
- SIMATIC Logon がインストールされ、アクセス保護が有効の場合、SIMATIC Logon は、ログオンユーザーが一定の機能を使用する権限を持っているかどうかを直接確認して判定します。これらのユーザーの重複した管理/確認を防止するために、ライセンスキーを割り付ける権限はすべてのユーザーに与えられます。

必要条件

役割管理を適用し、アクセス保護を有効にするには、次の要件を満たす必要があります。

- ユーザーおよびユーザーグループが Windows でセットアップされていること。
- SIMATIC Logon オプションパッケージがインストールされていること。
- "Logon_Administrator"ユーザーグループのセットアップが完了していること(SIMATIC Logon オンラインヘルプを参照)。

現在コンピュータにログオンしているユーザーは、"アクセス保護の有効/無効" ([ファイル]設定)権限を持っている必要があります。

主な用語

用語	説明
権限	<ul style="list-style-type: none">• 権限は、SIMATIC Logon の役割管理により定義されます。• 権限を追加または削除することはできません。
ユーザー/ユーザーグループ	ユーザーおよびユーザーグループは、コンピュータのユーザーアカウントで定義されます。
アクセス保護	アクセス保護は、特定のユーザーおよびユーザーグループに特定の操作を実行する権限を与えます。役割は管理を容易にするために使用されます。
役割	<p>役割には、ユーザーグループ/ユーザーが、Automation License Manager の範囲内で特定のアクションを実行するためのオーソリゼーションが含まれます(たとえば、データの転送)。</p> <ul style="list-style-type: none">• ユーザーおよびユーザーグループに、1つ以上の権限を割り付けることができます。ユーザーはこれらの権限に定義されたすべての権限を持つことができます。• 基本のデフォルトの役割は、SIMATIC Logon の役割管理により提供されます。• 必要に応じてカスタムの役割を追加または削除できます。• 役割に権限を追加または削除できます。

3.8.2 SIMATIC Logonの役割管理の呼び出しおよび有効化

手順

1. [ファイル|役割管理]メニューコマンドを選択して、役割管理を開きます。[SIMATIC Logon AdminTool]ダイアログが開きます。
2. 少なくとも1人のユーザーに管理者の役割を割り付けます。
3. 変更を保存し、"[SIMATIC Logon 役割の管理]"ダイアログを閉じます。

注記

"[SIMATIC Logon 役割の管理]ダイアログにおける作業の取扱説明に関しては、SIMATIC Logon のオンラインヘルプにある "[SIMATIC Logon 役割の管理]"ダイアログを参照してください。

4. [ファイル|ログオンの切り替え]メニューコマンドを選択して、[SIMATIC Logon Service]ダイアログを開き、少なくとも管理者権限をもつ名前でもログオンします。
5. メニューコマンド[ファイル|設定]を選択します。[設定]ダイアログが開きます。
6. [SIMATIC Logon のアクセス保護を有効にする]チェックボックスを選択します。

注記

- [SIMATIC Logon のアクセス保護を有効にする]チェックボックスがクリアされている場合は、すべてのユーザーが役割管理で変更を行うことができます。
 - [SIMATIC Logon のアクセス保護を有効にする]チェックボックスを選択した場合、“アクセス保護の有効/無効”権限のあるユーザーだけが、役割管理で変更を行うことができます。
-

7. [OK]をクリックして、設定を適用します。

3.8.3 Automation License Managerの機能権限および役割

以下の機能権限および役割が指定されます。

機能	役割			
	ライセンサ	管理者	メインユーザー	ユーザー
ライセンスキーの転送	X	X	X	
ライセンスキーの確認	X	X	X	X
ライセンスキーの修復	X			
ライセンスキーのアップグレード	X	X	X	
ライセンスキーの表示	X	X	X	X
ログの読み取り	X	X	X	
ログの削除	X	X		
アクセス保護の有効/無効	X	X		
プロジェクトの変更	X	X		

注記

[プロジェクトの変更]権限は、Automation License Manager にアクセスするための役割および機能権限を割り付けできることを意味します。

用語解説

Assignable License Key

指定されたシリアル番号を持つハードウェアだけに使用できるライセンスキー。このライセンスキーに関連付けられたライセンスが、そのハードウェアに割り付けられます。

Assigned License Key

ライセンスキーは、システムを稼働させるために、そのシステムに割り付けられます。

ライセンス証明書(CoL)

ライセンスの証明です。法的にライセンスオーナーを特定します。ライセンスを一意に識別するためのライセンス番号が含まれます。

Count relevant ライセンス

このライセンスのソフトウェアの使用は、使用許諾契約書で規定されたタグの数に制限されます。

Countable Objects ライセンス

このライセンスによるソフトウェアの使用は、使用許諾契約書で指定された数のアプリケーション固有のオブジェクトに制限されます。

[定義]ビュー

[管理]ビューの内容およびレイアウトを定義します。

Demo ライセンス

このライセンスのソフトウェアの使用は、使用許諾契約書で規定された使用条件に制限されます。

Demo ライセンスに対する残り時間に関するツールヒントが、タスクバーの情報エリアに表示されます。

組み込まれた(ランタイム)システム

ランタイムソフトウェアを実行中の非 Windows システム。一般に特殊ハードウェアを備えていません。

エンジニアリングソフトウェア

オートメーションソリューションを作成、テストおよび稼動するために使用するソフトウェア

Floating ライセンス

複数のコンピュータで同時にソフトウェアを使用するための無期限の権利。このソフトウェアは、複数のロケーションにインストールできます。

インストール済みのソフトウェア

コンピュータ上にインストールされているソフトウェア。

ライセンス

ライセンスであるエンドユーザー使用許諾書に従ってソフトウェアを使用するための、ライセンスオーナーの権利

ライセンスキー

厳密には1つ以上のライセンスの所有権と同等である、保存された情報。

ライセンス番号

ライセンス番号は、ライセンスの一意な識別子です。

Master ライセンス

このライセンスのソフトウェアの使用は無制限です。

Rental ライセンス

このライセンスは、使用許諾書の規定のように操作時間/操作日数を一定の期間に制限するか、または期間が満了するまで、ソフトウェアを使用することを許可します。

サービスパック

公式に入手可能なソフトウェアの不具合対策です。新しいライセンスは必要ありません。

Single ライセンス

このタイプのライセンスによって、任意の1つのコンピュータで無期限にソフトウェアの使用が許可されます。使用のタイプはライセンスの認定書によって定義されます。

ソフトウェアオプション

ライセンス管理の点から、他のソフトウェアまたはファームウェアに法的に依存するソフトウェア

Trial ライセンス

このライセンスは、ソフトウェアの使用を初めて使用したときからの指定日数に制限します。このソフトウェアは、テストおよび検証の目的以外には使用できません(ライブラリは除外)。

Upgrade ライセンス

アップグレードとは、ソフトウェアのバージョン x からバージョン x 以上への移行です。アップグレードでは、システムステータスに特定の必要条件が要求されることがあります。アプリケーションを実行するコンピュータの数を増やす場合には、アップグレードが必要となることがあります。

無制限ライセンス

このライセンスでは、ソフトウェアを無制限に使用することができます。

索引

[

[オフライン転送] 46, 49, 51

- アクティベーションコードの入力 51
- アクティベーションコードの生成 49
- ライセンスキーの有効化 51
- ライセンスプロファイルファイル 52
- 要求コードを入力します 49
- 開始コードの生成 46

[ログ] 33, 34

- 利用 33

[検索] 32

- インストール済みライセンスキー 34, 35

A

Automation License Manager 8, 11, 12, 13, 14, 19, 20,

25, 29, 66

アンインストール 14

インストール 13

インストール要件 11

ステータスアイコン 25

ビュー 29

ユーザーインターフェース 19

ライセンス 7

ライセンスタイプ 7

役割 66

標準ライセンスタイプ 7

機能権限 66

Automation License Managers のアンインストール 14

Automation License Manager のインストール 13

Automation License Manager のステータスアイコン 25

Automation License Manager のビューの概要 29

Automation License Manager のユーザーインターフェース 19

Automation License Manager のライセンス 7

Automation License Manager のライセンスタイプ 7

Automation License Manager の機能 6

Automation License Manager の機能権限および役割 66

Automation License Manager の紹介 5

Automation License Manager の設定 23

Automation License Manager V5.2

マニュアル, 05/2012, A5E03975574-01

F

Floating ライセンスキー 55, 56

M

Master ライセンス 68

S

SIMATIC Logon によるアクセス保護 63

SIMATIC Logon の役割管理 63

W

Web ライセンスキーのダウンロード 53, 54

ア

アクセス保護 23

SIMATIC LOGON による 63

アクティベーションコード 49, 51

入力 51

生成 49

アプリケーションダイアログ 19

イ

インストール 13, 14

Automation License Managers 13

プラグイン 14

インストール済みソフトウェアの表示 36

インストール済みライセンスキー

表示 34

インストール済みライセンスキーの表示 34

インストール要件 11

インターネットページの中止 54

インターネットページの戻る 54

インターネットページの進む 54

インターネットページの開始ページ 54

ウ

ウィザードを使用したライセンスキーの回復 62

オ

オブジェクトエリア 21

テーブル列 21

オブジェクトエリアのテーブル列 21

オフライン転送の実行 - ライセンスキーの有効化 51

オフライン転送 - 要求コードを生成する 47

キ

キーボードコマンド 27

コ

コンピュータの接続 57

コンピュータ接続のエラー 59

デ

デフォルトビュー 28

ネ

ネットワーク 59, 60

失敗 59

ネットワークの既存ライセンスキー 55

ネットワークの既存ライセンスキーの検索 55

ネットワーク経由のコンピュータの接続 57

ハ

ハードディスクの最適化 18

ビ

ビュー 28, 30, 33

[ログ] 33

[検索]ビュー 32

[管理] 30

デフォルトビュー 28

フ

フォルダの作成 39

フォルダ内のライセンスキーの管理 40

プ

プラグイン 14

インストール 14

プラグインのインストール 14

プログラム実行の遅れ 24

の場合のフィードバック 24

ヨ

ヨーロッパ/アフリカ 10

ラ

ライセンスキー 15, 16, 30, 33, 34, 35, 37, 38, 45, 51, 55, 61, 62

[オフライン転送] 45

アップグレード 15, 16

インストール 34

サポート 61

ネットワークでの検索 55

ログの作成 33

修復 61

回復のためのウィザードの使用 62

有効化 51

確認 61

管理 30

転送 37, 38

ライセンスキーのインストール 34

ライセンスキーのオフライン転送 45

概要 45

ライセンスキーの回復 61

ライセンスキーの検索 32

ライセンスキーの確認 61

ライセンスキーの管理 30

ライセンスキーの転送 37, 38

ライセンスキーフォルダの作成 39

ライセンスキーをオフライン転送するためのライセンス

プロファイルファイル 52

ライセンスキー用のステータスアイコンを参照 25

ライセンスのアップグレード 15

ライセンスプロファイルファイル 52

ライセンス要求の決定 43

ライセンス要求の決定および同期化 43

使

使用可能なビュー 28

古

古いソフトウェアバージョンの使用 17

古いソフトウェアバージョンの使用に関する注記 17

外

- 外部アクセス 23
 - ブロック 23
- 外部アクセスの設定
 - 言語およびお気に入り 23

失

- 失敗した接続 59

役

- 役割管理 65
 - SIMATIC LOGON による 63
 - 呼び出し 65
 - 役割と権限 63
 - 有効化 63, 65
- 役割管理の呼び出しおよび有効化 65

必

- 必要条件 11
 - インストール用 11

機

- 機能の概要 6

注

- 注記 17, 18
 - ハードディスクの最適化に関して 18

- 古いソフトウェアバージョンの使用に関する 17

管

- 管理の概要,
 - [検索]
 - およびログビュー 29

要

- 要求コード 49
 - 入力 49

言

- 言語 23
 - 設定 23

設

- 設定 23, 24
 - お気に入り 23
 - 外部アクセス 23
 - 言語 23

配

- 配布内容 9

開

- 開始コード 46
 - 生成 46

